

7. 障がい者・ユニバーサルデザインに関するマーク

(1) 障がい者に関するマーク

障がい者に配慮した施設であることや、それぞれの障がいについて分かりやすく表示するため、いろいろなマークや表示があります。

これらのマークには、国際的に定められたものや、各障がい者団体等が独自に提唱しているものがあります。

一人ひとりがマナーと思いやりを持って、暮らしやすい社会にするために、これらのマークを見かけた場合には、ご理解とご協力をお願いいたします。

障がい者に関するマークには、主に次のようなものがあります。※順不同

●障がい者のための国際シンボルマーク



障がい者が利用できる建物、施設や公共交通機関であることを明確に表すための、世界共通の国際シンボルマークです。国際リハビリテーション協会が1969年にアイルランドのダブリンで開催された総会で採択し、マークの使用については、国際リハビリテーション協会の「使用指針」により定められています。

このマークは、すべての障がい者を対象としたものです。特に車いすを利用する障がい者を限定し、使用されるものではありません。

このマークを見かけた場合には、障がい者の利用への配慮について、ご理解とご協力をお願いいたします。

(関係機関・団体) 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

●視覚障がい者のための国際シンボルマーク



世界盲人連合が、1984年10月にサウジアラビアのリヤドで開催した設立総会で採択したもので、「このマークを手紙や雑誌の冒頭に、あるいは歩行用に自由に使用してよい。色はすべて青色にしなければならない」とされています。

視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。信号機や国際点字郵便物・書籍などで、身近に見かけるマークです。

このマークを見かけた場合には、視覚障がい者の利用への配慮について、ご理解とご協力をお願いいたします。

(関係機関・団体) 社会福祉法人 日本盲人福祉委員会

●聴覚障がい者を表示する国際シンボルマーク



世界ろう連盟が、1979年にブルガリアで開催した総会での一般会員による投票により半数以上の支持を得たものです。

1980年に一般に紹介されてからは、いくつかの国で定期刊行物やポスターに使用されています。

(関係機関・団体) 世界ろう連盟

●耳マーク



聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。

聴覚障がい者は障がいそのものが分かり難いために、誤解されたり、不利益をこうむったり、社会生活上で不安が少なくありません。

このマークを提示された場合は、相手が「聞こえない」ことを理解し、コミュニケーションの方法への配慮について、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、「耳マーク」のご利用については、「社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会」に利用申請を行っていただければ、無料でご利用いただけます。

（関係機関・団体）社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

●ハートプラスマーク



内部障がい・内臓疾患のある人を表しています。

内部障がい（心臓、呼吸機能、じん臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能など）や内臓疾患（難病、その他内臓機能疾患）は、外見から分かり難いため、その存在を視覚的に示し、理解を得るためにこのマークが生まれました。

このマークを着用している方を見かけた場合は、内部障がい者（内臓疾患のある人）の利用への配慮について、ご理解とご協力をお願いいたします。

（関係機関・団体）特定非営利活動法人 ハート・プラスの会

●オストメイト・マーク



オストメイト（人工肛門・人工ぼうこうを保有する人）の利用に配慮した設備があることを表しています。

オストメイト対応の多機能トイレ（排泄物の処理、ストーマ装具の交換・装着、ストーマ周辺皮膚の清拭・洗浄、衣類・使用済み装具の洗濯・廃棄などができる設備があります）の入口・案内誘導プレートに表示されています。

このマークを見かけた場合は、そのトイレがオストメイトに配慮されたトイレであることについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

（関係機関・団体）社団法人 日本オストミー協会

●身体障がい者標識（四葉マーク）



肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が、その障がいがある自動車の運転に影響を及ぼす恐れがある場合に、運転する車に表示する標識です。

危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に対して無理に幅寄せや割り込みを行った場合は、道路交通法違反により罰せられます。

（関係機関・団体）警察庁交通局、都道府県警察本部交通部、警察署交通課

●聴覚障がい者標識（聴覚障がい者マーク）



政令で定める程度の聴覚障がいのあることを理由に免許に条件を付されている方が、周囲の運転者に対する注意喚起のため、運転する車に表示する標識です。

危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に対して無理に幅寄せや割り込みを行った場合は、道路交通法違反により罰せられます。

（関係機関・団体）警察庁交通局、都道府県警察本部交通部、警察署交通課

●ほじょ犬マーク



身体障がい者補助犬同伴の啓発のためのマークです。

身体障がい者補助犬とは、盲導犬・介助犬・聴導犬のことをいいます。

「身体障害者補助犬法」が施行され、現在では公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやホテルなどの民間施設でも身体障がい者補助犬が同伴できるようになりました。

補助犬はペットではありません。体の不自由な方の体の一部となって働いています。社会のマナーもきちんと訓練されており、衛生面でもきちんと管理されています。

お店の入口などでこのマークを見かけたり、補助犬を連れている方を見かけた場合は、ご理解とご協力をお願いいたします。

（関係機関・団体）厚生労働省社会・援護局 企画課 自立支援振興室

●譲り合い感謝マーク



内部障がい者や難病患者の方など、配慮の必要なことが外見からわかりにくい人がいます。

譲りあい感謝マークは、そうした方々が外出する際に身につけることによって、バスや電車での座席の譲りあいをはじめ、周囲の人びとが配慮を示しやすくするなど、障がいや難病を抱える方々などの社会参加を応援し、みんなにやさしい環境づくりを進めていこうというものです。

このマークを見かけた場合は、ご理解とご協力をお願いいたします。

（関係機関・団体）兵庫県健康福祉部障害福祉局 障害者支援課

（２）ユニバーサルデザインに関するマーク

●マタニティマーク



妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするためのマークです。さらに、交通機関、職場、飲食店、その他の公共機関等が、その取り組みや呼びかけ文を付してポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進しています。（平成１８年）

（関係機関・団体）厚生労働省雇用均等・児童家庭局

●こうべ・だれでもトイレのシンボルマーク



「こうべ・だれでもトイレ」は、お年寄りの方も、車いす使用の方も、オストメイトの方(人工肛門、人工ぼうこう保有者)も、乳幼児連れの方も、妊婦の方も、つえを使っている人も、荷物をたくさん持っている人、外国の人も、みなさんが使いやすいことを追求した、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れてつくられた多機能・多目的トイレです。

平成 15 年度より、都心エリアのモデル地区を中心に、公共の建物とともに、民間の建物にもご協力いただいて整備を進め、平成 18 年度からは、全市にその取り組みを進めています。(平成 23 年 11 月末現在 129 施設)

親しみのある身近なトイレとなるように、平成 15 年度にシンボルマークを公募し、平成 16 年度よりトイレ入口に順次設置しています。

(関係機関・団体) 神戸市都市計画総局まちのデザイン室

8. 用語の説明

あ

移動等円滑化

高齢者、障がい者等の移動や施設を利用する際に、身体の負担を軽減することにより、移動上または施設の利用上の利便性及び安全性を向上することをいいます。本基本構想では、「バリアフリー化」と同義に用いています。

移動等円滑化基準

バリアフリー新法に基づき、移動及び施設の利用を円滑にするために必要な構造や設備に関して国が定めたもので、「公共交通移動等円滑化基準」、「道路移動等円滑化基準」、「都市公園移動等円滑化基準」、「建築物移動等円滑化基準」（各項目参照）などがあります。

移動等円滑化経路

建築物移動等円滑化基準で定められる基準のひとつで、道路等から不特定多数、又は高齢者、障がい者等が利用する居室、及び障がい者等が利用できるトイレ、車いす使用者用駐車施設までの経路について、段差の解消や車いす使用者も容易に開閉できる戸にするなどのバリアフリー化された経路のことです。

運行情報案内表示器

文字により電車の接近等を知らせる設備です。音声案内等により情報を得ることができない聴覚障がい者も情報を得ることができます。



LED信号機

LED（Light Emitting Diode）とは発光ダイオードのことです。従来の電球による信号機より明るいため視認性が向上するほか、消費電力を抑える効果や信号機の長寿命化などの効果も得られます。



大型多目的シート

多目的トイレに設置する設備で、成人も介護できるよう配慮された大型のシートです。多目的トイレの利用者の支障とならないよう、一般的には折りたたみ式となっています。

オストメイト

直腸がんや膀胱がんなどにより、臓器に機能障がいを負い、腹部に人工的に排泄のための孔を造設した人のことです。オストメイトはパウチと呼ばれる排泄用の袋状の装具を装着しているため、通常の便座は利用できず、パウチを洗浄する水洗器具等が必要となります。



音響式信号機

視覚障がい者に、青信号となったことを音により知らせる装置です。一般的に、南北方向には“ピヨピヨ”、東西方向には“カッコー”の音声で知らせます。

か**ガイドライン**

移動等円滑化基準を補完するもので、望ましい整備に関する事項や具体的な整備方法などが示されています。現在、旅客施設・車両、建築物、公園、道路について各種ガイドラインが発行されています。

グレーチング

鋳鉄や鋼鉄製の金物でできた網状のふたで、歩行者などの転落を防止するために側溝の上に設置するものです。

蹴込み（けこみ）

車いす使用者が券売機に正対して使用する場合、つま先部分がつかえて券売機に近づきづらい状況となります。そのため、券売機の足元付近に蹴込みと呼ばれる凹部を設けることで券売機に近づきやすくなり、より高い位置のボタンも操作可能となります。

建築物移動等円滑化基準、建築物移動等円滑化誘導基準

建築物移動等円滑化基準は、建築物内の廊下やトイレ、エレベーターなどのほか、敷地内の通路や駐車場について守るべき基準が示されています。

一方、建築物移動等円滑化誘導基準は、正式名を「高齢者、障害者等が円滑に利用できるようにするために誘導すべき建築物特定施設の構造及び配置に関する基準」といい、建築物移動等円滑化基準より望ましい基準を示したものです。

公共交通移動等円滑化基準

正式な名称は「移動等円滑化のために必要な旅客施設または車両等の構造及び設備に関する基準」であり、旅客施設のエレベーターやトイレなどの設備に関する基準のほか、鉄道やバスの車両について移動等円滑化を図っていく基準が示されています。

勾配（こうばい）

傾きのことをいい、道路勾配の表示には一般的に「%」表示が用いられます。パーセント表示は、水平距離に対する垂直距離の割合を示したもので、例えば、水平距離 1m に対して 5cm の高低差が生じている場合、勾配は 5% となります。

高齢者等感応信号機

通常の歩行者信号機の青時間では横断できない高齢者や障がい者等のために設置される押しボタン式の信号機で、白色の箱のボタンを押すことや携帯用発信機を用いることで、歩行者の青時間を延長することができる装置です。



心のバリアフリー

心のバリア（障壁）とは、高齢者や障がい者などが持つ問題を知ろうとしないことや理解しないことを意味します。この心のバリアを無くすことを「心のバリアフリー」といい、とくにバリアフリー新法では、高齢者や障がい者などへの理解を深めることにより、駐輪等の自身の行為で高齢者、障がい者等の施設の利用を妨げることがないように注意することや、段差を上げず困っている車いす使用者に声をかけ移動を助けることなどについて「心のバリアフリー」とし、国民の責務としています。

コミュニケーションボード

言語に支障がある人などでも、意思疎通を円滑に進めるための道具で、絵文字やイラストなどにより分かりやすく図示したボードです。鉄道駅やバスのほか銀行などでも設置が進んでいます。



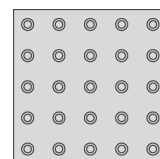
ち

サイン

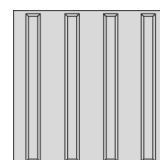
サインにはしるし、符号、表示、掲示、標識の意があります。サインを適切に配置することにより、人は自分の位置を確認したり、施設や設備の位置を把握することができ、円滑な移動や施設の利用が可能になります。

視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）

視覚に障がいのある人が杖や足の裏の触感覚でその存在や大まかな形状を確認できるような突起をつけたブロックのことで、一般に点字ブロックとも呼ばれます。注意喚起のための点状ブロックと、行く先を誘導するための線状ブロックがあります。なお、視覚障害者誘導用ブロックは、各製造者により様々な形状のものが販売されていますが、平成 13 年に J I S 規格化されており、ガイドラインでは J I S 規格の使用が推奨されています。



点状ブロック



線状ブロック

J I S規格

JIS（日本工業規格）とは、「我が国の工業標準化の促進を目的とする工業標準化法（昭和24年）」に基づき制定される国家規格です。JISは、2011年3月末現在で、10,259件が制定されています。

《参考》 視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）、ピクトグラム（標準案内用図記号）

施設設置管理者等

施設設置管理者とは、鉄道やバスなどの公共交通事業者、市道や府道などの道路管理者、路外駐車場管理者、公園管理者、建築主など、個々の施設の設置や管理に対し責任を負う事業者をいいます。また、本基本構想では、施設設置管理者等の「等」は、信号機などを管理する公安委員会を含んで呼ぶときに使用します。

重点整備地区

生活関連施設の所在地を含み、かつ、生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区であるほか、生活関連施設及び生活関連経路について移動等円滑化のための事業が実施されることが特に必要とされ、かつ移動等円滑化のための事業を重点的、一体的に実施することが有効な地区をいい、「徒歩圏内」の考え方の目安である概ね 400 ヘクタール未満の区域となります。

触知図、触知案内板

視覚障がい者が施設等の案内図を触って判読できるよう、施設の形状や設備の配置、名称などについて浮き文字により示した案内板です。建築物や駅舎、公園の出入口付近のほか、トイレ等の出入口に設置されます。

スパイラルアップ

バリアフリー化を図るうえで、事前の検討段階から事後の評価の段階に至るまで、高齢者、障がい者等が積極的に参加し、この参加プロセスを経て得られた知見を共有化し、他のプロジェクトに生かすことによって行われる、段階的かつ継続的な発展のことです。

生活関連施設、生活関連経路

生活関連施設とは、高齢者、障がいのある人等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設であり、生活関連経路とは、生活関連施設の間を結び、道路、駅前広場や建物内及び敷地にある通路などのことです。

た**多機能トイレ**

車いす利用者だけでなく、オストメイト（人工肛門や人工ぼうこうの保持者）、乳幼児連れの家族、妊婦、高齢者等が利用可能な複数の機能を有したトイレです。

段鼻（だんばな）

階段等の段の先端のことです。また、階段の段鼻部は、移動等円滑化基準により明度差（明暗の差）等を設けるよう示されています。

**低床バス**

通常のバスより床面が低いバスのことです。地面から床面までが 55cm 程度で乗降ステップが 1 段のワンステップバスと、25～30 cm 程度で乗降ステップのないノンステップバスがあります。

**道路移動等円滑化基準**

道路移動等円滑化基準は正式名を「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令」といい、歩道の幅員や舗装、こう配などについて守るべき基準が示されています。

特定事業、特定事業計画

施設設置管理者等が、バリアフリー基本構想に即して実施する事業について具体的な事業内容やスケジュール等を定める事業計画です。バリアフリー新法において、バリアフリー基本構想策定後に各施設設置管理者等が定めることが規定されています。

都市公園

都市公園法で定められた公園や緑地で、都市計画上必要な施設として定められたものか、都市計画区域に設置するものです。

徒歩圏

国が実施するパーソントリップ調査（人の動きを調べ、交通機関の実態を把握する調査）においては、徒歩圏は概ね 0.5～1 kmとされています。

な

ノーマライゼーション

障がいを持つ人も、持たない人も、社会の一員として、お互いに尊重し支えあいながら、地域の中でともに生活する社会こそがあたりまえの社会であるという考え方です。

は

パーキング・パーミット制度

身体障害者用駐車場の適正な利用を促進することを目的として、各地方自治体等において身体障害者用駐車場の利用証を交付することで利用者を明らかにし、本当に必要な人のために駐車スペースを確保する制度をいいます。この制度では、身体障がい者だけでなく、高齢者、妊産婦、けが・難病等で歩行が困難な方まで幅広い方々が、身体障害者用駐車場の利用対象者となります。

バリアフリー

高齢者や障がい者、妊産婦等の移動に制約を受けやすい人の妨げとなる障壁（バリア）を除去することです。広義には、段差解消等の物理的環境の改善だけでなく、人間の心理的なバリアや社会的な制度のバリアを除去することも含みます。

ピクトグラム（標準案内用図記号）

伝えたいイメージが一見して理解できるよう、絵文字等により表現したサインのことです。交通エコロジー・モビリティ財団により 125 種類の標準案内用図記号が公表されています。



トイレ



エレベーター

兵庫県福祉のまちづくり条例

高齢者、障がい者を含むすべての県民がいきいきと生活できる福祉のまちづくりを推進するため、全国に先駆けて平成 4 年に制定されたものです。その後、3 度にわたる改正を行っており、平成 22 年 12 月にバリアフリー新法を踏まえた改正が行われました。（平成 23 年 7 月施行）

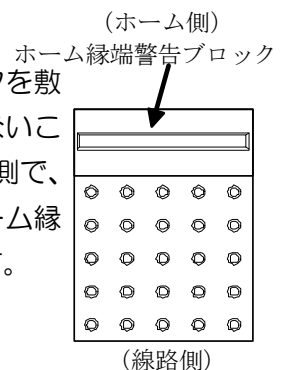
この改正に伴い、妊婦、乳幼児を同伴する者が対象に含められたほか、基準適合義務のある対象施設の拡大、県民の参画と協働による福祉のまちづくりなどが新たに定められました。

歩車分離

歩道と車道を物理的に分離する状態のことをいいます。特にバリアフリーでは、15cm 以上の縁石で分離する必要があるとされています。

ホーム縁端警告ブロック（内方線）

ホームの縁端には、視覚障がい者の転落を防止するために点状ブロックを敷設する必要があります。しかし、点状ブロックは正方形で方向性を持たないことから、視覚障がい者は点状ブロックの上にも立っていても、どちらが線路側で、どちらがホーム側なのかがわからなくなるため、ガイドラインでは、ホーム縁端に敷設する点状ブロックのホーム側に内方線を示すよう推奨しています。

**ま****耳マーク**

聴覚障がい者は、障がいそのものが分かりにくいために誤解をされたり、不利益を受けたり、危険にさらされたりするなど、社会生活の上で不安が多くあります。そのため、耳の不自由を自己表示する必要があるということで考案されたシンボルマークです。施設等の窓口には、筆談等により聴覚障がい者への対応が可能であることを示すため、設置の普及が進められています。

や**有効幅員**

通行上支障のない部分の幅をいい、全幅員から植樹帯・電柱・防護柵等の支障物を除いた幅のことです。ただし、側溝に蓋を設ける場合には、側溝の幅も有効幅員に含みます。

ユニバーサルデザイン

「みんなにやさしいデザイン」のことで、年齢、性別、文化、身体状況など人々がもつ様々な個性や違いを超えて、一人ひとりが互いに多様性を認め合い、はじめからだれもが利用しやすいように、まちや建物、製品、環境、サービスづくりを行なっていくという考え方をいいます。

ユニバーサルデザインタクシー

車いす使用者に限らず、足腰の弱い高齢者、妊娠中の女性、ベビーカー使用者なども含め、みんなが使いやすい新しいタクシーです。予約制の福祉限定による利用に限らず、街中で呼び止めて、誰もが気軽に利用できます。

ら**路外駐車場**

路外駐車場とは、駐車場法第二条に定められており、道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であって一般公共の用に供されるものをいいます。また、このうちバリアフリー新法で対象となるものを特定路外駐車場といい、一般公共の用に供し、駐車マスの部分の合計面積が500㎡以上のものであって、利用の際、駐車料金を徴収するといった要件を備える駐車場を指します。